

「難治性潰瘍性大腸炎に対する経口タクロリムス療法の 臨床的寛解導入と予後に関する実態調査」

1. 研究の目的

タクロリムスによる寛解導入治療を受けた難治性潰瘍性大腸炎の患者さんの症状、血液検査結果などから、どのような患者さんにタクロリムスが有効であることを明らかにしていきます。

2. 研究の方法

1) 対象となる患者さん

2009 年 4 月から 2017 年 3 月までに当院、広島、岡山、川崎、鳥取、山口、香川の 7 医療機関においてタクロリムスによる治療を受けた難治性潰瘍性大腸炎の患者さんを対象とします。

2) 研究方法

過去のカルテの記録（基本情報、症状、治療歴、血液検査、内視鏡所見など）をデータとして使用し、タクロリムスによる臨床的寛解導入の効果を詳しく調べます。お名前、カルテ番号等は匿名化され、データにはパスワードによるセキュリティを設定しメールにて送付されます。なお、島根大学でデータを取り扱い、他の施設には提供しません。個人情報には十分保護されます。

3) 研究期間

2017 年 1 月から 2023 年 3 月まで

3. 個人情報の保護について

本研究を通じて、お名前、住所、カルテ番号などが外部に伝わることはなく、解析データには個人情報は一切含みません。あなたの個人情報の保護には十分配慮し、法令を遵守いたしますのでご安心ください。

4. 研究組織

研究代表者（研究責任者）

石原 俊治

島根大学医学部内科学講座第二

〒693-8501 島根県出雲市塩冶町 89-1

TEL: 0853-20-2190

E-mail: si360405@med.shimane-u.ac.jp

作成日 2022 年 1 月 4 日

研究事務局

大嶋 直樹
島根大学医学部附属病院 光学医療診療部
〒693-8501 島根県出雲市塩冶町 89-1
TEL: 0853-20-2190
E-mail: n-oshima@med.shimane-u.ac.jp

研究実施機関

研究機関名	研究責任者名
島根大学医学部内科学第二講座／附属病院 消化器内科	石原 俊治
広島大学医学部附属病院 内視鏡診療科/消化器・代謝内科	上野 義隆
岡山大学医学部附属病院 消化器内科	平岡佐規子
川崎医科大学 消化管内科学	石井 学
鳥取大学医学部 機能病態内科学分野	八島 一夫
山口大学医学部 消化器内科学	橋本真一
香川県立中央病院 消化器内科	稲葉 知己

この研究にご質問等がありましたら下記までお問い合わせ下さい。

また、研究に参加を希望されない場合は遠慮なく下記の連絡先まで 2019 年 9 月までにお申し出ください。

この場合も診療など病院サービスにおいて患者の皆様に不利益が生じることはありません。

<問い合わせ・連絡先>

島根大学医学部附属病院消化器内科
職名：講師 氏名：大嶋 直樹
電話：0853-20-2190 ファックス：0853-20-2187